

クラウドアプリケーション 部会報告

2016年6月10日(金)

ニッポンクラウドワーキンググループ
クラウドアプリケーション部会
部会長 尾鷲 彰一

クラウドアプリケーション部会について

今やクラウドサービスの利用は個人レベルまで浸透してきております。例えば、Facebookや、Googleなど、数多くのクラウドサービスが展開されています。

昨今では、クラウドの利用は、クラウドサービスとスマートデバイスや、他のハードウェアとの連携など、いわゆるIoTへと発展しています。

クラウドアプリケーション部会では、そういったクラウド関連の最新の技術の調査や検証から、実際にデモアプリケーションを開発するまでを行い、そこで得たノウハウを参加メンバー各社、また会合での成果発表などを通し、NCWGに参加しているみなさん各社のサービスに活用できるアウトプットを提供していきます。

今年度のテーマ

「クラウドおよびBeaconを活用したIoTの技術に触れる」

①クラウド（IaaS、PaaSなど）とスマートフォン、Beaconの連携技術の調査、および実装。

②デモアプリケーションの開発

①、②より各社のサービスに活用してもらえればと思っております。

Beaconを活用したシステム事例



Smart Public Transport

- ルーマニア市内公共バス500台全て
- イタリア公共バス1000台採用



Super Market

- ルーマニア国内Carrefour全28店舗



Exhibition & Seminar

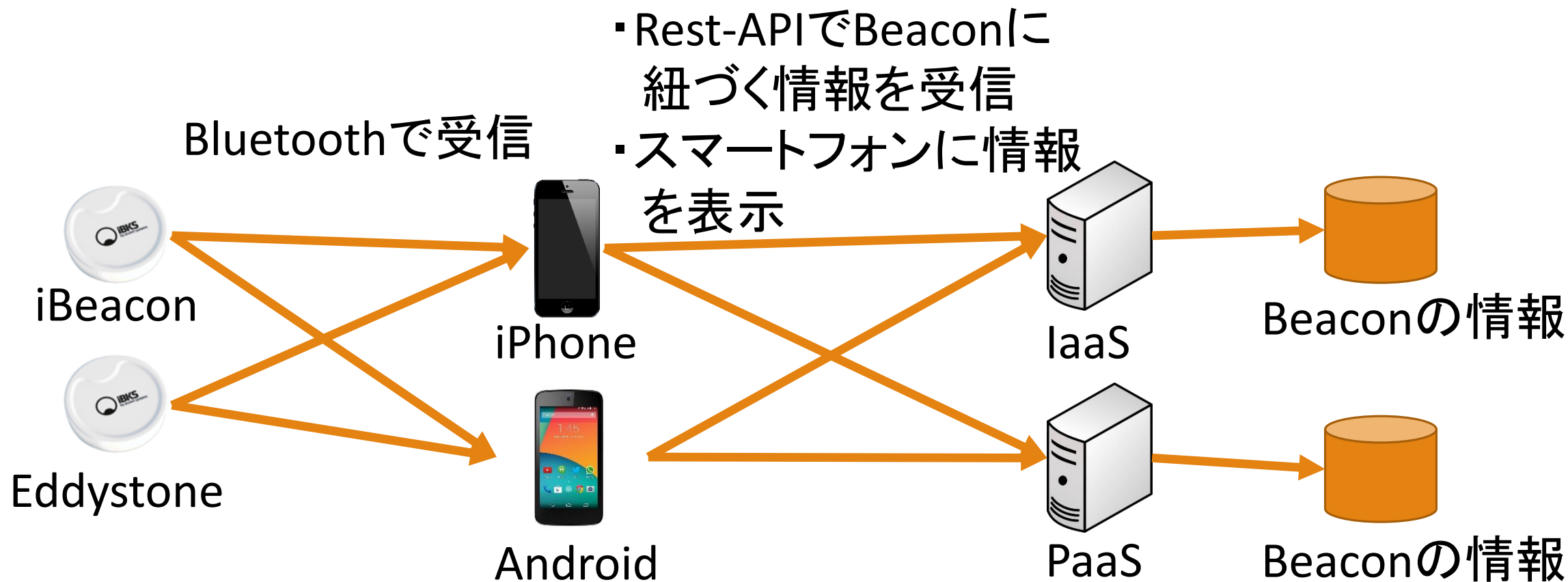
- 米IBMセミナー全て
(Event Connectアプリ採用)



Asset Tracking

- 日本某大学産学共同プロジェクト採用

デモアプリケーションについて



iBeaconとEddyStoneの違い

機能比較



iBeacon



Eddystone

通信手順	UUID	UID, URL, TLM
通信手段	Bluetooth	Web、Bluetooth
Bluetooth 4.2	実績有	実績なし
アプリケーション	必須	必要なし Chrome
セキュリティ	暗号化なし	暗号化あり EID
位置検出	三段階あり	なし

第10回 開催概要

【日時】

第10回 3月28日(月) 17:00~19:00

【場所】

株式会社クリエイトラボ 会議室

【内容】

- ・Beaconについての認識合わせ
- ・デモアプリケーションについて(どのようなものを作るか)検討

部会参加者

【参加者(社名順)】

株式会社IDCフロンティア	深野 慶
アドソル日進株式会社	吉村 隆男
株式会社インフォザイン	松田 孝
株式会社エイチ・ピー・エス	三上 智親
オプロ株式会社	深沢 卓史
株式会社オープンウェブ	尾鷲 彰一
株式会社クリエイトラボ	内田 龍
有限会社ディアイピィ	野元 恒志
株式会社RAIJIN	花村 和弥
計 9社 9名	



■メンバー募集してます！！
関西の方々とは、Skypeなどを用いて、テレビ会議のような形で一緒にやっていければと思います。
ご参加希望の方は、尾鷲までご連絡ください。

第10回 部会のアジェンダ

1. 本日の開催内容について
2. クラウドアプリケーション部会 今年度のテーマについて
3. ビーコンについて① ビーコンの概要
4. ビーコンについて② iBeaconとEddystone
5. ビーコンとO2Oサービス
6. ビーコンを活用したシステム構築のためのクラウドサービス
7. 今後の活動について
8. デモアプリケーションについて検討

デモアプリケーションについての検討

Beaconを活用したアプリケーションでどのようなものを作りたいかのディスカッションを行いました。

- ・イベント案内アプリ 目的地に近づいたら情報が出る。
- ・ディズニーランドの待ち時間確認アプリ どのくらいこんでいるか。
- ・学校での子供たちの行動調査アプリ どのような子供たちがグループになっているか。
- ・もの探しアプリ 病院などで医療器具がどこにあるか探すなど。
- ・位置+温度センサーでの室温管理アプリ 部屋の中でここが寒い、暖かいを感知する。

デモアプリケーションについて

■「Beacon端末を宝ものに見立てた宝探しゲーム」

検討したアプリケーション**すべてに必要な機能**に触れることができることから決めてます。

- ・ビーコンの電波検出
- ・ビーコン端末とスマホの距離情報を取得

■仕様について

- ・Beaconに近づくにつれて、スマホの画面の色が変化。
青:遠い 黄:近い 赤:すぐそこ
- ・Beaconからの位置情報をサーバに蓄積
サーバ上の位置情報から宝ものを探す際の人の動きを見る。

応用としては、
・スタンプラリー
・オリエンテーリング
などのサービスが開発できる
と思います。

次回予定

【日時】

第11回 7月25日(月) 17:00~19:00

【場所】

未定

【内容】

- ・開発環境の構築
- ・BluetoothでのBeaconとの通信体験